



経営協議会で「強制出向」について会社を追及!

出向会社エムティーが「本人が同意していない出向は受け入れられない。JRへ帰ってもらう」と明言しても!

関西支社人事課長「現段階で何か申し上げられることはない」

4月13日、地本は関西支社と「令和4年度新幹線鉄道事業本部実行計画」に基づく経営協議会を開催しました。参加者は、笹田委員長、三田副委員長、柳楽副委員長、浦谷書記長、今田業務部長、西組織部長。会社側は秋山人事課長、佐藤運輸課長、田中営業課長、嵯峨山車両課長、足立課長代理、深谷係長でした。冒頭、秋山人事課長から「重点目標」の5項目の説明がありました。

地本を代表し笹田委員長が、「これまで新幹線輸送を安全第一に取り組んできたが、今後も労使が協議しながら今後の施策に取り組む時である。」「経営問題を捉える時、リニア建設は早急に見直すときである。」「会社から組合員に対する強制出向を通じた不誠実な対応が続いていることについて抗議する。」と挨拶しました。

3/25、富岡課長代理、足立課長代理は

エムティーから呼び出し受けて取消しの通告をされてる!

議論では、当日も出席した西組織部長に対する強制出向の問題について集中的に議論しました。

3月23日に開催した団体交渉の席上、エムティーは「本人が同意していない出向は受け入れられない。JRへ帰ってもらう。本人が同意していない人はウチに来てもらわなくてもいい。本人が同意している人に来てもらいたい」と表明し、さらに3月25日に会社に表明した内容を伝えたことも明らかにしました。しかし、会社は、エムティーから連絡があった事実を明言することなく、本人の能力、適正を勘案し総合的な人事異動によって対応しているという、今までの姿勢と変わらない回答を繰り返しました。

会社は前田さんの出向取り消しの理由を「出向会社から取り消しがあった」と本人にも明らかにしており、エムティーが出向取消しを表明している事実との対応の違いについて追及しましたが、「会社間の調整は明らかにしない」と人権を侵害する強制出向を続ける表明をしました。